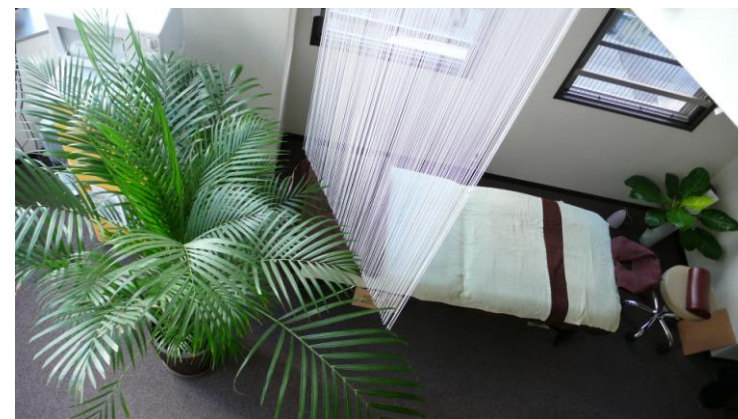




すいな整体サロン SHANTI 畠中 恵美氏

創業年月：平成22年5月
 事業内容：すいな整体サロン
 従業者数：2人
 所在地：大阪府中央区伏見町2-6-2 ネット伏見町201
 電話番号：06-6203-0300
 営業時間：11:00~20:00
 定休日：日曜、月曜
 URL：<http://shanti-ctm.com>



製品・サービスの特徴

現代は、ストレス社会と言われている。そんな中、疲労回復、ストレスリセットはもちろんのこと、疲労やストレスに強い身体に体質改善をしたり、スポーツ前後の調整や、手術後の回復のお手伝いといったリラクゼーション+αのサービスを行っているのが、「すいな整体サロンSHANTI」の畠中さんである。

当店は、大阪ではめずらしい推拿（すいな）による施術を行っている。推拿は、東洋伝統医学の三大療法で、鍼灸、漢方とならび、中国では病院で治療として行われている。筋肉と同時にツボや経絡に最適な刺激を与えることにより、全身の「気・血・水」の流れが改善される。人間が本来持っている自然治癒力を最大限に引き出し、快方へと導くのが特徴である。

店名のSHANTI（シャンティ）は、サンスクリット語で「平安」「平和」を意味する。中国語のshenti（身体）を掛け合わせて、「身体の平安から健康、そして大いなる平和につながる」という信念のもと、「施術を研鑽し、社会に貢献していきたい」という畠中さんの思いが込められている。

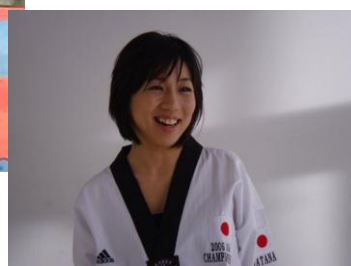
当店は、画一的な施術を行うのではなく、カウンセリングを行い、脈や五臓の状況からこりなどの症状の原因を把握し、可能な限りお客さまの体質に合ったその人だけのオーダーメイドの施術を行っている。お客様からは、「頭がスッキリして仕事の効率がよくなった」「夜、ぐっすり眠れるようになった」と好評である。

創業の経緯

畠中さんは、テコンドーの元日本代表である。日本人初の世界学生選手権で3位入賞、全日本選手権や海外大会での優勝と輝かしい経歴を持つ。しかし、アテネオリンピックの直前にアキレス腱を断裂。これが、畠中さんの転機となった。

リハビリ中にスポーツ医学に興味を持った畠中さんは、単身渡米し、医学部の聴講生となった。その後、東洋医学に興味を持ち、推拿と出会う。選手時代は、「とてもこんな仕事はできないな」と思っていたという畠中さんだが、中医薬大学日本校で勉強し、インターンで経験を積むうちに、「自分が今までやってきたことの全てを注ぎ込むことができる素晴らしい仕事」と気づいたという。

ケガは、選手としてはネガティブなものだったが、そこから得た様々な経験が創業に結びつくこととなった。また、過酷なリハビリから、施術を受ける側の気持ちを理解した経験は、現在の事業にしっかりと生かされている。



創業時の課題

（集客）

推拿の技術はあったものの、大阪ではまだ推拿の知名度が低く、集客に苦労した。解決策は、「人と人のつながり」だった。異業種交流会などに積極的に顔を出し、口コミやチラシ配布など地道なPRを行った。その結果、創業時の苦しい時期もお客様が来てくれるようになった。また、ホームページやブログの更新、タウンサイトへの書込み、ツイッターなどインターネットでの情報発信をこまめに行うことで新規客も増えた。現在は、顧客満足度の向上を念頭に、コスト面を考えて、リピート率のアップに力を入れている。

（場所選定）

最初は、思うような場所が見つからなかったり、条件が合わなかったり、開業場所はなかなか決まらなかった。しかし、業種柄、「立地は重要」と考え、妥協しなかった。街の雰囲気や通行人の様子をよく観察し、「ターゲットとなるビジネスマンを確保できる場所」、「店のイメージに合う部屋のづくり」、「自分の好きな街であること」にこだわり、じっくりと探した。その甲斐あって、時間はかかったが、理想の場所を見つけることができた。気に入った場所で開業することができたことで、自分の仕事のモチベーションも上がっているという。

今後の見通し

女性中小企業診断士の会が主催したビジネスプランコンテスト（2010年11月）において、金賞を受賞した。これを励みに、今後も自分のビジネスプランに磨きをかけていく予定である。具体的には、スポーツメーカーと推拿の有用性を科学的に検証する測定を行い、さらなる技術の向上を図りたいと考えている。また、お客様同士がつながる交流会やイベントの開催、アスリートの引退後のセカンドキャリア支援も考えている。現在、当店でブレンド販売している漢方茶もリラクゼーション効果があると好評であり、今後物販部門にも力を入れていく予定である。

経営者からのメッセージ

「一期一会」を大切に、人的ネットワークを築くことが大事だと思います。また、お客様の信頼を得られるよう「和敬清寂」の心で一人ひとりに合ったおもてなしを行い、来店されたお客様が、来られた時より良い笑顔で帰られることを日々意識して経営することが重要だと思います。

日本政策金融公庫 国民生活事業
 こくきん創業支援センター大阪
 大阪市北区曽根崎2丁目3-5
 (06) 6315-0306